

φ 48 スモール DN タコメーターキット 12500RPM 取扱説明書

製品番号 05-05-0119

適応車種	レブル 250 (MC49-1000001 ~)
	レブル 500 (PC60-1000001 ~)

まえがき

この度は、弊社製品をお買上げ頂き有難うございます。ご使用につきましては、下記内容をご理解の上ご使用下さいますようお願い申し上げます。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- 取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書は基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。
 - 当製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても弊社は賠償の責任を一切負いかねます。
 - 当製品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
 - 他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。
 - 当製品のサブコードを取り付ける場合、一部簡単な配線加工等が必要になります。
 - 一度の走行距離が短い場合等、車両のバッテリーに十分な充電が行われない場合こまめにバッテリーの充電を行って下さい。
- 又、保管期間がある場合は、バッテリーマイナス端子を取り外しこまめに充電を行うか、弊社製バッテリーチャージャーで充電を行って下さい。(待機電流でバッテリー上がり原因になります。)
- 取り付け作業は、レブル 250 が主体です。レブル 500 は、サービスマニュアルの手順に従い外装パーツ等の取り付けしを行って下さい。

特徴

レブル 250、レブル 500 専用のタコメーターキットです。純正メーター横に配置する為、非常に視認しやすいです。付属のサブコードは簡単な配線加工で取り付けの事が出来ます。メーター本体にはφ 48 スモール DN タコメーター (ホワイト LED) を採用しています。指針角度をデジタル信号 & 小型モーターが完全制御。指針保持力が高く、信頼性に優れた構造です。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時 (エンジンやマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品破損・ケガの原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識のない方は作業を行わない下さい。(技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
 ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
 但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
 なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
 ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 大川 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
 TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

ご使用上の注意点

社外品の H. I. D. キット、他社製 LED ヘッドライトやフォグランプ類は、絶対に同時装着しないで下さい。バラスト / インバーター (電圧変換装置) からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る物があり、製品故障や動作不良の原因となります。
 社外品の点火装置 (イグニッションコイルやプラグコード) も点火電圧のアップに伴う悪影響ノイズの増大により故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。
 充電力の不足している社外品の発電装置は、バッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となる可能性がありますので取り付けしないで下さい。

[ヘッドライト OFF での走行禁止]
 ヘッドライト常時点灯車を安易な改造 (断線させるだけ) によりライト OFF 状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。
 ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では、悪影響がより強くなります。ヘッドライトが球切れしてしまった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて (光軸も調整して) 下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さい。

進入した湿気が出て行くように湿気抜きを本体裏面に設けております。洗車時など、メーター底面に直接水を吹付けけないように注意して下さい。また、湿度の高い状態に置きますと本体内部に湿気が浸入し画面がくもってしまう可能性があります。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	メーター本体	1	
2	RPM コード B (550mm)	1	00-05-0371
3	アースコード	1	00-05-0043
4	電源オプションコード	1	00-05-0189
5	常時電源コード (レッド)	1	00-05-0381
6	結束バンド	4	00-00-0269 (ブラック/10本)
7	リセプタクル (ギボシφ 3.5メス)	1	00-00-0270 (5ヶ入り)
8	メーターメイン配線	1	
9	メーターマウントステー	1	
10	ボタンヘッドソケット スクリュー 8x45	1	

番号	部品名	個数	リペア品番
11	カラー (ブラック)	1	
12	クッションカラー	2	
13	六角ナット 4mm	2	00-00-0398 (10ヶ入り)
14	ブレーンワッシャ 4mm	4	00-05-0086 (10ヶ入り)
15	クッションラバー	2	
16	スティック温度センサー	1	07-04-0553
17	温度センサー連結コード 900mm	1	07-04-0554
18	六角穴付き止めネジ (イモネジ) M3x5	1	00-00-0480 (6ヶ入り)
19	L レンチ 1.5mm	1	00-00-0902

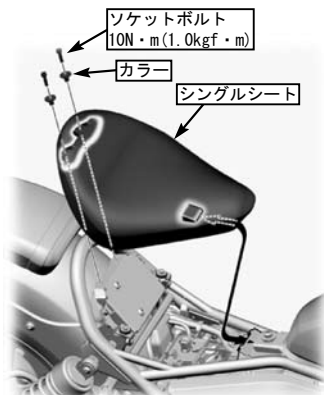
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいますようお願い致します。
 ※写真にない RPM コード、メーターマウントステーは使用しません。
 ※口で囲っていない製品は、05-05-0083 内の物を使用。

注意
 本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。
 外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順・締め付けトルクの指示に従い作業を行って下さい。また外装類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。



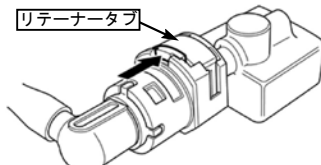
□シートを取り外します。

○ソケットボルト及びカラーを取り外します。
 シングルシートを後方に引いて取り外します。

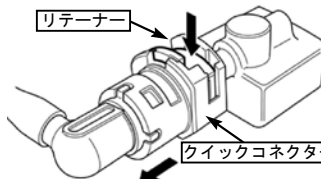


□フューエルタンクを取り外します。

○タンクを固定しているボルトを取り外します。クイックコネクターの接続を外す前にサービスマニュアルを参照し燃圧を抜きます。
 ○バッテリーのマイナス端子、プラス端子の接続を外します。フューエルタンクを持ち上げて支えます。クイックコネクターの周りをウエスなどで覆います。リテーナータブをジョイント方向に押しします。



○リテーナーを押し下げた状態にします。クイックコネクターを、フューエルポンプジョイント / フューエルインジェクタジョイントから外します。リテーナーの状態を点検し、必要に応じて交換します。フューエルタンクを持ち上げ、フューエルホースをフューエルポンプセッティングプレートのホースクランプから取り外します。



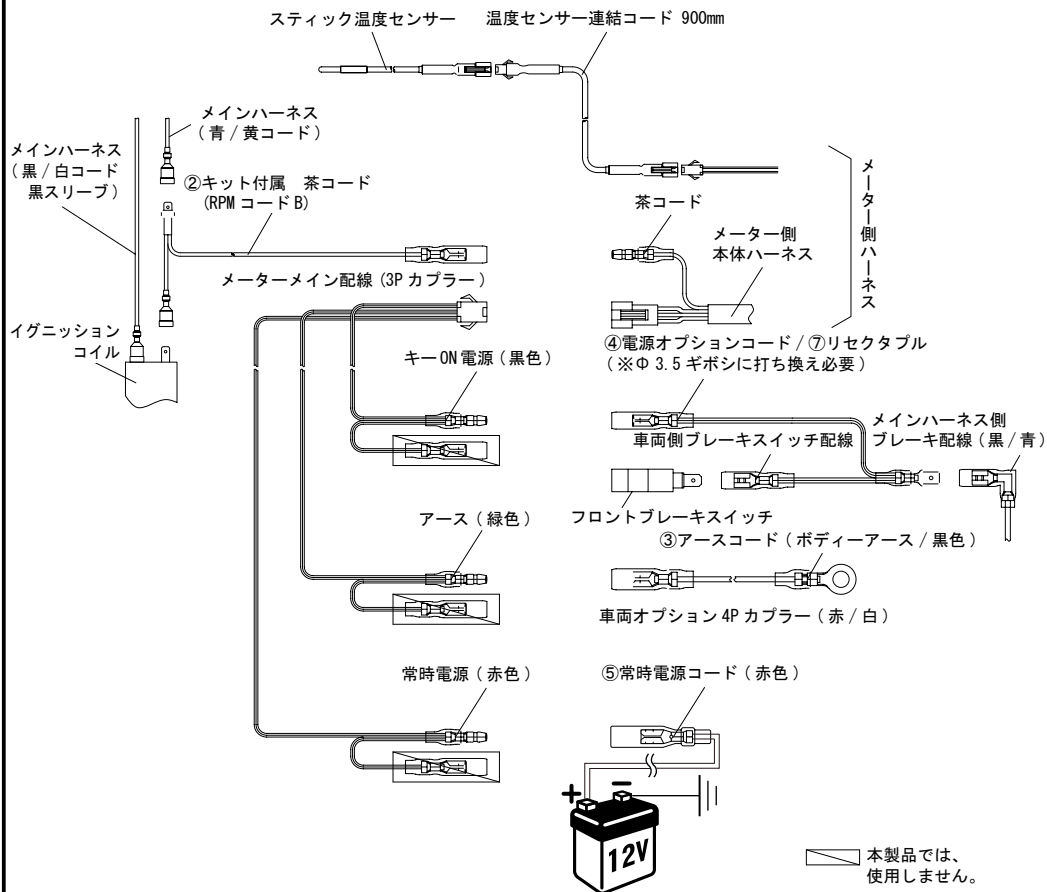
○フューエルタンク下のフューエルポンプ 5P カプラーを取り外します。
 ※レブル 500 は、3P カプラー。



○下記の部品を取り外します。
 フューエルタンクドレンホース
 チャコールキャニスタホース
 フューエルタンク
 ※この時フレームに養生テープ等貼り付けフレームが傷付かない様フューエルタンクを持ち、後方に少し引きながら取り外します。



配線接続図



※② RPM コード B (茶色) を IG コイル本体に接触しない様に取り回して下さい。タコメーターの指針の誤作動に繋がります。

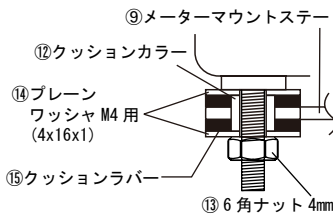
注意
 本取扱説明書のコード色表記は、ベース色 / ライン色としています。
 黒 / 白という表記のコードは、黒色の被覆に白色のラインが入っているコードを表します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

□メーターマウントステーにメーター本体を固定します。

- ①メーター本体に⑨メーターマウントステーを取り付けます。
- ラバーマウント部の組み立てに関しては下図を参考にして下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：5N・m (0.5kgf・m)



□ハンドルアッパーホルダーRにメーターマウントステーを固定します。

- 純正メーターを固定しているパンスクリュー6x25を取り外します。メーター本体を少し左側にずらします。



- ハンドルアッパーホルダーRを固定している後方側をある程度緩め前方側のソケットボルト8x32を取り外します。
- ハンドルアッパーホルダーRの前側(ソケットボルト8x32が入っていた所)に⑩カラーをセットします。



- ⑩ボタンヘッドスクリュー8x45に先ほど準備した、メーターマウントステーに通しカラーの上にセットします。⑩ボタンヘッドスクリュー8x45を締め込みステーの位置を調整します。位置が定まればハンドルバーのポンチマークがトップブリッジとアッパーホルダーのすき間に合う様に取り付ける事。ソケットボルトは、前後の順に規定トルクで締め付ける。※純正メーターを仮止めし、位置調整を行って下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
⑩ボタンヘッドスクリュー8x45
トルク：27N・m (2.7kgf・m)

- 純正メーターを元の位置に戻しパンスクリュー6x25を固定します。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
パンスクリュー6x25
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

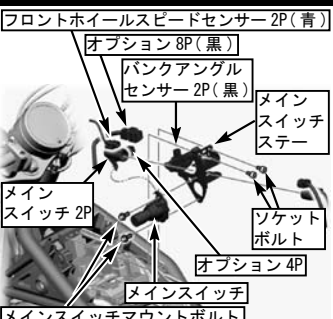
□②RPMコードBを接続します。

※シート/マイナス、プラス端子/フューエルタンクを取り外した状態での作業になります。
レブル250(MC49-1200001~)、レブル500(PC60)のモデルはフューエルタンクまで取り外し、配線図を参考に②RPMコードBを青/黄コードに割り込ませ、反対をメーターハーネスの間に接続します。

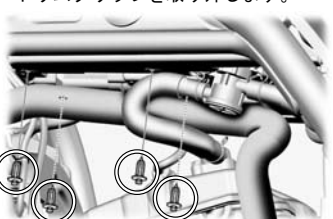
- サービスマニュアルを参照しフューエルタンクアンダートレイを取り外します。
- メインスイッチステーを取り外し、下記のカブラーの接続を外します。フロントホイールスピードセンサー2P(青)

- オプション8P(黒)バンクアングルセンサー2P(黒)メインスイッチ2Pオプション4P
- ソケットボルト、メインスイッチステー、メインスイッチマウントボルト及びメインスイッチを取り外します。

組み戻し時の締め付けトルク
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットボルト /
メインスイッチステー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

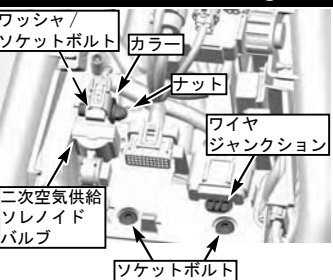


- エンジンコントロールユニットとプラグキャップを取り外します。
- アンダーカバーを固定している4本のトリムクリップを取り外します。



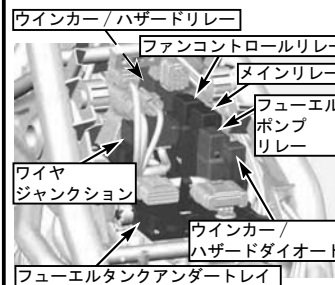
- 下記の部品を外し、二次空気供給ソレノイドバルブをステーから外します。
ナット
カラー
ワッシャ/ソケットボルト
- ソケットボルトとワイヤジャンクションを取り外します。

組み戻し時の締め付けトルク
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
二次空気供給ソレノイドバルブ
マウントナット
トルク：8.5N・m (0.85kgf・m)
ソケットボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- 下記の部品を取り外します。
ウインカー/ハザードリレー
ファンコントロールリレー
メインリレー
フューエルポンプリレー
ウインカー/ハザードダイオード
ワイヤジャンクション
(ECUを取り外した下にあります。)
フューエルタンクアンダートレイ



- 配線図を参考に②RPMコードBをイグニッションコイルの青/黄コード間に接続します。接続が出来れば、メインスイッチステー逆手順で組み付けます。



□常時電源の取り付け作業
⑤常時電源コード(レッド)

- ※シート/マイナス端子/フューエルタンクを取り外した状態での作業になります。
- バッテリー端子の(赤)に⑤常時電源の丸端子側を共締めします。

□キーON電源の④電源オプションコード組み付け

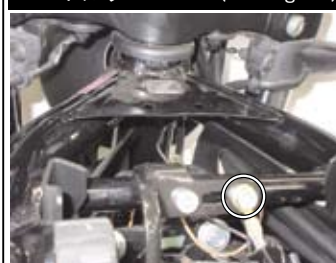
- 配線図を参考に④電源オプションコードのギボシを⑦リセクタブルに打ち換えておきます。
- 配線図を参考にし、フロントブレーキスイッチに入っている黒/青のコードを外し、④電源オプションコードを割り込ませ、⑧メーターメインハーネス黒色に接続します。



□③アースコードの取り付け

- ※シート/マイナス端子/フューエルタンクを取り外した状態での作業になります。
- フューエルタンク下の写真の箇所のソケットキャップボルトを取り外し、③アースコードの丸端子部をソケットキャップボルトで固定します。
- ※塗装でアースがしっかり取れない場合は、やすり等を使用し少し塗装を剥がします。

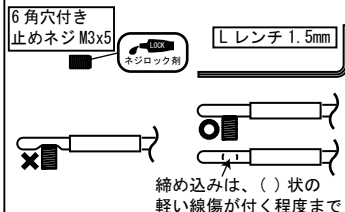
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップボルト
トルク：8.5N・m (0.85kgf・m)



- 配線図を参考にし、③アースコード黒と⑧メーターメインハーネスの緑色を接続します。

□⑧メーターハーネスのカブラーを接続します。

- 配線図を参考に、ステアリングを切っても問題ないように⑧メーターハーネスの3Pカブラーをフューエルタンク下で接続します。
- 別途、弊社製ドレンボルトをお買い求め頂くとドレンボルト部での温度計測が可能になります。(計測範囲0~120℃)温度センサーを走行風の当たらない箇所に固定して頂くと外気温計としてもご使用頂けます。
- ※センサー未接続(配線が断線)時は数値が[---.°C]となります。

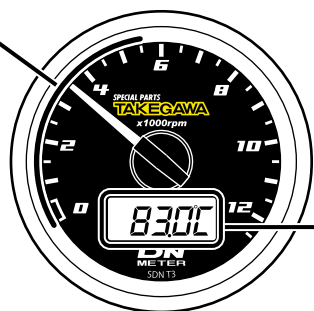


- フューエルタンクを逆の手順で取り付け、マイナス端子を取り付けます。
- 作動が問題ない場合は、シートを付けます。

操作方法/各設定を行います。

機能一覧

- 指針式タコメーター
- 最高記録 (自動測定) 最高回転数記録



- サーモメーター
- 最高記録 (自動測定) 最高温度記録
- 時計
- エンジンワークタイマー

耐震性、正確性に優れた DN モーターを採用した指針式タコメーターにサーモメーター、時計、最高記録 (自動測定) (最高温度記録 / 最高回転数記録)、エンジンワークタイマー機能をデジタル表示する多機能なタコメーターです。ブラックパネルにオレンジ照明を採用し、昼間と夜間共に視認性に優れたメーターです。

■ 各種機能一覧

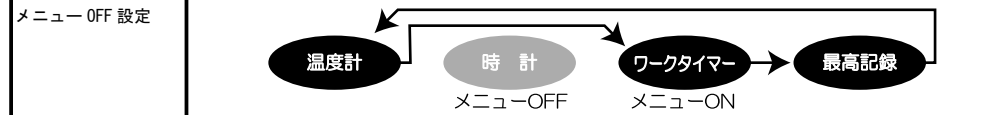
指針式 タコメーター	表示範囲: ~ 12500rpm	設定→見出し番号②
	発火回数設定	クランクシャフト 1 回転あたりの発火回数設定。 1/2 発火、1 ~ 6 発火
	RPM 信号	C, D, I. 点火からインジェクション車に多いフルトランジスタ点火まで、様々な RPM 信号の認識性能に優れた回路とプログラムを装備
	電子回路	AC8 ~ 17V / DC10 ~ 18V に対応し、電圧変動や過電圧に対して耐久性の高い電源回路を装備
	最高記録 (自動測定機能)	最高回転数記録 (リセットを行うまで記録が保存) 見出し番号⑥

サーモメーター	測定範囲: ~ 120°C	設定→見出し番号①
	スティック温度センサー付属	スティック温度センサーが付属している為、別売スティック温度センサー用各種アダプターをご購入頂く事で温度を計測出来ます。 又、水温計及び水温警告等付き車両で水温を計測したい場合、弊社製 PT1/8 温度センサーとノーマル温度センサーを交換することで水温を計測することが出来ます。
	最高記録 (自動測定機能)	最高温度記録 (リセットを行うまで記録が保存) 見出し番号⑥

ワークタイマー (エンジン稼働時間計)	リセット可能範囲: ~ 9999 時間	500rpm 以上のエンジン稼働時間を自動で加算するタイマー。500rpm 未満になると止まります。	設定→見出し番号⑤
	100 時間までは分単位で記録され、100 時間を超えると 1 時間単位で記録されます。	リセット可能。 メニューオフ対応 (非表示設定有り)	

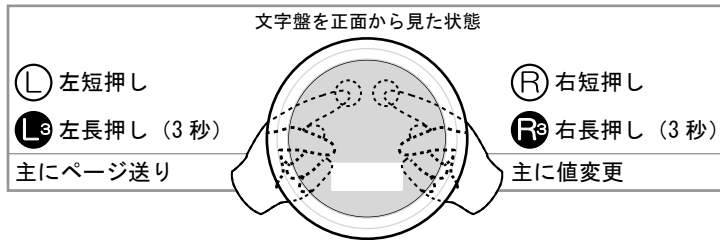
時計	表示: 24 時間	メニューオフ対応 (非表示設定有り)	設定→見出し番号④
----	-----------	--------------------	-----------

取り付ける車種によっては使えない機能や、お客様によっては不要と思う機能を隠す事が出来ます。対応の機能は「時計」「ワークタイマー」の 2 つです。メニュー OFF 設定は ADJ モードで行います。
例 1) バッテリーレス車は時計機能が使えないので、時計をメニュー OFF に設定。
例 2) スピードメーター側に時計があるので、タコメーターの時計をメニュー OFF に設定。



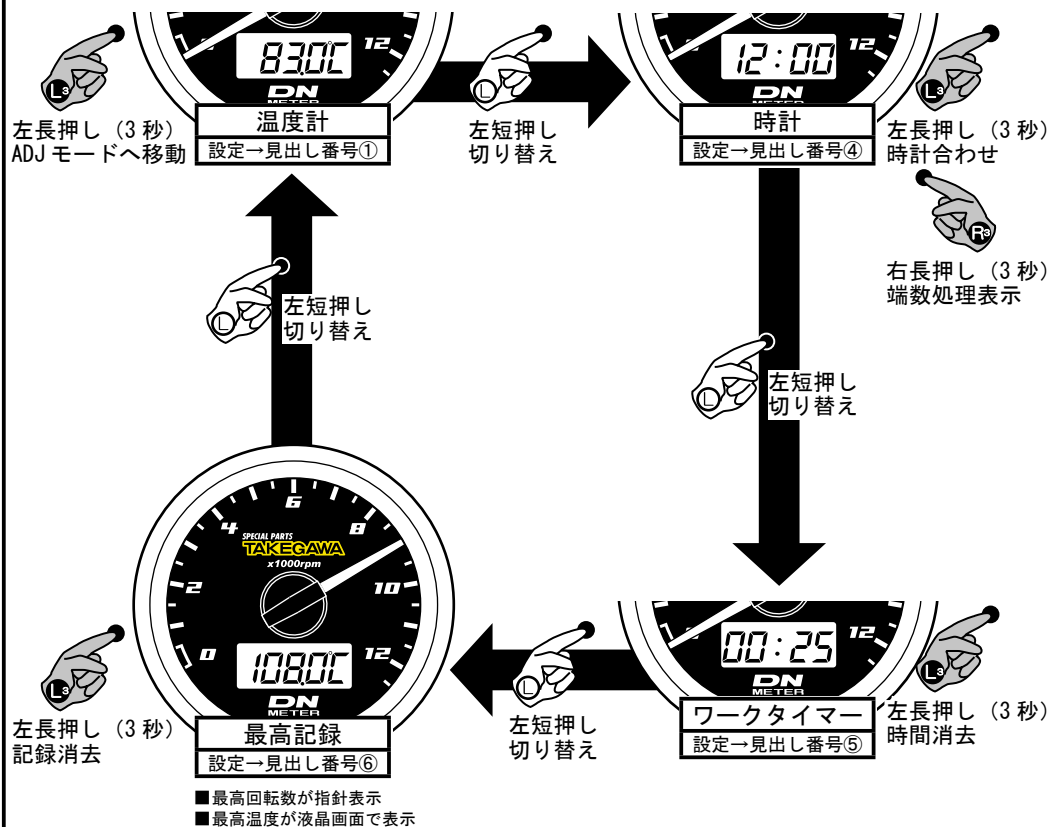
ボタンの操作方法

メーターの基本設定や表示切り替えは、メーター本体の裏にある 2 つのボタンを使用します。左右のボタンの説明は下イラストのように“文字盤を正面から見た状態”でボタンの左右を表します。又、ボタンを押して頂く際、“短押し”と“長押し (3 秒)”の 2 種類の押し方があります。表示アイコンや押し方の表記をご確認の上、操作を行って下さい。



メーター起動

- バッテリー電源車はキー ON で、バッテリーレス電源車は、エンジン始動に伴い電源が入ります。
- 前回 OFF にした時のモードで起動します。
- “左短押し”を行うと中央下の液晶画面の表示が温度計→時計→ワークタイマー→最高記録→温度計・・・に切り替わります。最高記録に関しましては、最高回転数が指針表示、最高温度が液晶画面で表示されます。
- ワークタイマー表示中、“左長押し (3 秒)”する事で、記録を消去。
- 最高記録表示中、“左長押し (3 秒)”する事で、記録を消去。



ボタンの操作方法

ADJモード

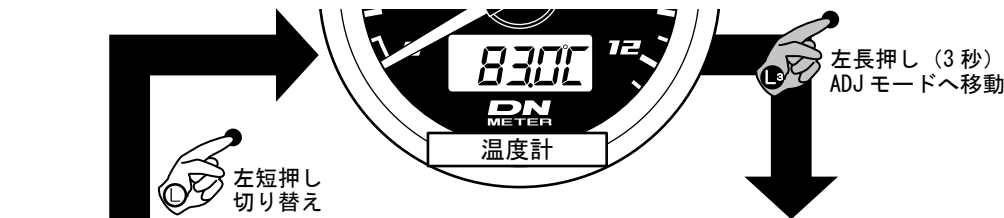
- 各種設定値の変更、調整を行うモードです。
- “温度計”表示中に“左長押し(3秒)”でADJモードに入ります。

文字盤を正面から見た状態



■ADJモード時

- Lボタン(左ボタン) 短押し: 次設定項目に進む / 長押し: ADJモードを抜ける
- Rボタン(右ボタン) 短押し: 設定値を進める / 長押し: 設定値を戻す



ワークタイマーのメニュー OFF 設定 設定→見出し番号⑤-2
時計機能を使用しない場合は OFF 範囲: ON、OFF

RPM信号接続設定 設定→見出し番号②-1
RPMコード接続先の種類
IGモード【A接続】【B接続】イグニッションコイル接続
PCモード【C接続】パルスジェネレーター接続



時計のメニュー OFF 設定 設定→見出し番号④-2
時計機能を使用しない場合は OFF 範囲: ON、OFF

RPM信号回数設定 設定→見出し番号②-2
クランクシャフト1回転あたりの信号回数
IGモード時の範囲: 0.5、1 ~ 6回
PCモード時の範囲: 1 ~ 24回



最低回転数設定 設定→見出し番号②-4
指針を動かさずエンジン回転数の最小値
範囲: 500rpm ~ 4000rpm

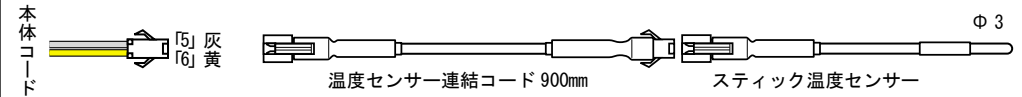
RPM信号種類設定 設定→見出し番号②-3
読み込みプログラムの種類
範囲: Hiモード、Loモード

①温度センサー入力

1

温度センサー接続コード、温度センサーの接続

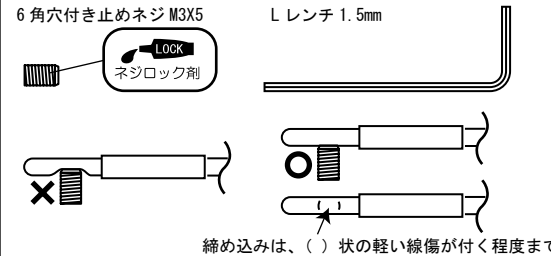
- 温度計の測定範囲は0 ~ 120°Cです。
- 油温計測、水温計測を行うには、別途オプションパーツのアダプター類が必要です。
- 車種によっては、温度センサー取り付け可能なエンジン部品も販売しています。
- 弊社カタログにてオプションパーツをご覧下さい。
- 温度センサーを適当な位置に固定し、外気温計としての使用も可能です。



ステアリング作動による干渉や走行振動による擦れ、エンジン高温部への接触などで損傷、断線しないように配線テープやタイラップを使いフレームや車体ハーネスに配線を固定して下さい。

センサー未接続(配線が断線)時は数値が[- - -、-C]となります。

- 付属の止めネジは、弊社製対応パーツにスティック温度センサーを取り付ける際に使用します。
- ・脱落防止の為に止めネジにネジロック剤を少量付け、センサーに軽く線傷が付く程度で締め込みを止めて下さい。



注意 止めネジの締めすぎでセンサー部が大きく変形すると、内部の電子部品が損傷してしまう可能性があります。

破損するとコードの断線又は短絡(ショート)と同じ状態になります。
断線時の表示: [- - -、-C]
短絡時の表示: [120.0C]

温度オプションパーツ

- マグネット付きドレンボルト (M12xP1.5) レブル 250/レブル 500 適合



エンジンオイルに混ざった鉄粉をドレンボルトに設けたマグネットが強力な磁力で吸着します。これにより、オイル内にある鉄粉が減少し、エンジンオイル本来の安定した潤滑性能を発揮する事が可能となります。更に弊社製アルミドレンボルトには、脱落防止としてワイヤーロックが行えるワイヤーロック穴と弊社製スティック温度センサー差込穴を備えております。スティック温度センサーをドレンボルトに取り付け、弊社製Φ48スモールDNタコメーター 12500RPMに接続する事でドレンボルト部での温度を計測する事が出来ます。ドレンボルト本体はアルミ材を精巧に削り出し、表面にカラーアルマイトを施しています。カラーはシルバーブラック、ブルー、レッドの4種類。弊社ロゴレーザーマーキング入り マグネットには磁力が強力なネオジムマグネットを採用。■マグネットは“カシメ”でしっかりと固定 ■各種純正ドレンボルトと交換してご使用頂けます。

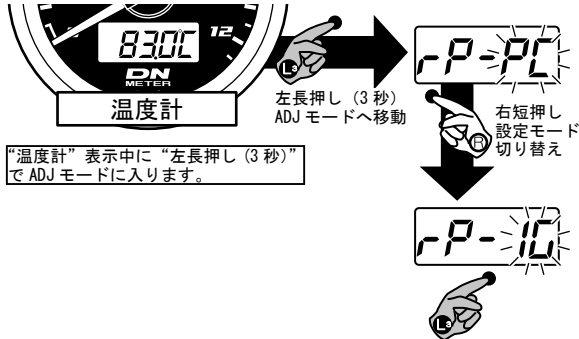
製品名	品番
ドレンボルト (マグネット付き): M12 P1.5	シルバー 02-09-0022 ブルー 02-09-0024 ブラック 02-09-0023 レッド 02-09-0025
M12 シーリングワッシャー	00-00-0140

②-1 RPM 信号接続設定

2-1 RPM 信号接続設定：RPM コード接続の設定を行います。
レブル 250 (MC49)、レブル 500 (PC60) はフルトランジスタ点火方式【B 接続】を行います。
【B 接続】の場合、設定モードは IG (イグニッションコイル接続) が該当します。

警告 作動確認前に本体の RPM 信号設定の切り替え操作を行って下さい。

- “温度計” 表示中に “左長押し (3 秒)” で ADJ モードに入ります。
 - ADJ モードに入ると “rP-IG” が表示されます。
- この状態で “右短押し” を行い、RPM 信号接続設定を行います。



“温度計” 表示中に “左長押し (3 秒)” で ADJ モードに入ります。



モードを設定後
左長押し (3 秒) 確定
同時にメイン画面に戻ります。

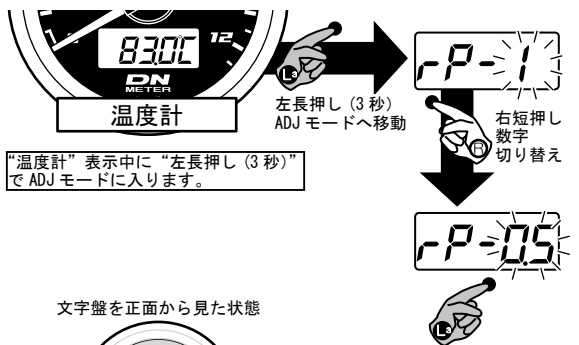
RPM 信号接続設定画面になると “IG” 又は “PC” が点滅しています。
“右短押し” より IG と PC が切り替ります。
レブル 250 (MC49)、レブル 500 (PC60) はフルトランジスタ点火方式【B 接続】になります。
レブル 250 (MC49)、レブル 500 (PC60) 【B 接続】設定モード
IG (イグニッションコイル接続) が該当します。
“rP-IG” に設定して下さい。
接続するモードを設定 (点滅表示) 後、“左長押し (3 秒)” により、確定します。
確定と同時に ADJ モードからメイン画面へ戻ります。

②-2 RPM 信号回数設定

2-2 RPM 信号回数設定：クランクシャフト 1 回転あたり信号回数設定を行います。
レブル 250 (MC49)、レブル 500 (PC60) は “0.5” が該当します。

警告 作動確認前に本体の RPM 信号設定の切り替え操作を行って下さい。

- “温度計” 表示中に “左長押し (3 秒)” で ADJ モードに入ります。
 - ADJ モードに入ると “rP-IG” が表示されます。“左短押し” により表示を切り替え、“rP-1” 表示に合わせます。
- 表示順 “rP-IG” → “rP-1” → “rP-HI” → “500r” ...
“rP-1” 表示の状態で、“右短押し” を行い、RPM 信号回数を設定します。

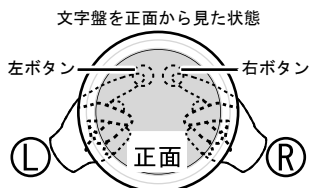


“温度計” 表示中に “左長押し (3 秒)” で ADJ モードに入ります。



RPM 信号回数の設定後
左長押し (3 秒) 確定
同時にメイン画面に戻ります。

RPM 信号回数設定画面になると “1” などの数字 (信号回数) が点滅しています。
“右短押し” より数字が切り替ります。
レブル 250 (MC49)、レブル 500 (PC60) は IG モード “0.5” になります。
信号回数 0.5 が該当します。
“rP-0.5” に設定して下さい。
RPM 信号回数の設定 (点滅表示) 後、“左長押し (3 秒)” により、確定します。
確定と同時に ADJ モードからメイン画面へ戻ります。

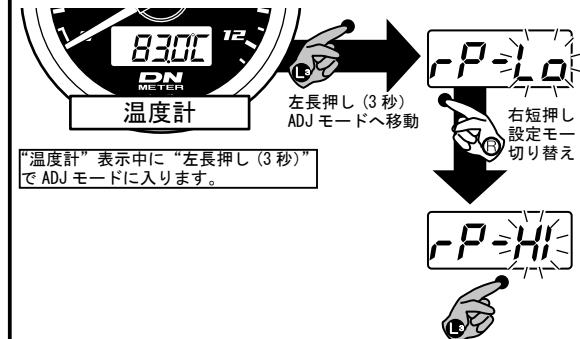


②-3 RPM 信号種類設定

2-3 RPM 信号種類設定：読み込みプログラムの種類を設定します。
レブル 250 (MC49)、レブル 500 (PC60) は “HI” が該当します。

警告 作動確認前に本体の RPM 信号設定の切り替え操作を行って下さい。

- “温度計” 表示中に “左長押し (3 秒)” で ADJ モードに入ります。
 - ADJ モードに入ると “rP-IG” が表示されます。“左短押し” により表示を切り替え、“rP-HI” 表示に合わせます。
- 表示順 “rP-IG” → “rP-1” → “rP-HI” → “500r” ...
“rP-HI” 表示の状態で、“右短押し” を行い、RPM 信号種類を設定します。



“温度計” 表示中に “左長押し (3 秒)” で ADJ モードに入ります。



モードを設定後
左長押し (3 秒) 確定
同時にメイン画面に戻ります。

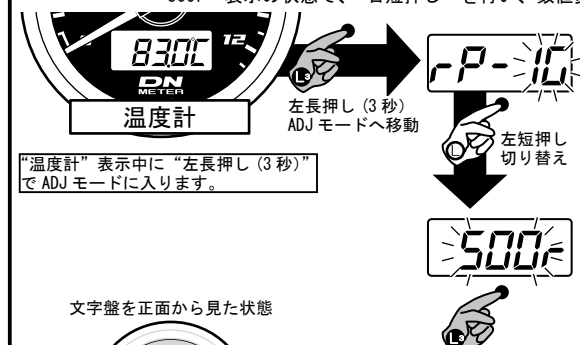
RPM 信号種類設定画面になると “Lo” 又は “HI” が点滅しています。
“右短押し” より Lo と HI が切り替ります。
レブル 250 (MC49)、レブル 500 (PC60) は “HI” になります。
設定モード HI が該当します。
“rP-HI” に設定して下さい。
接続するモードを設定 (点滅表示) 後、“左長押し (3 秒)” により、確定します。
確定と同時に ADJ モードからメイン画面へ戻ります。

②-4 最低回転数設定

2-4 最低回転数設定：指針を動かすエンジン回転数の最小値を設定します。

- バッテリーレス車用機能としての使用
バッテリーレス車はエンジンが停止すると、駆動電源が遮断される為、指針はその角度で止まったままになります。アイドリング回転数より少し高い回転数 (+500rpm 程度) を指定する事で、エンジン停止時の指針を 0 点に留める事が可能です。もし、指針の角度がずれてしまった場合でも、再起動時に自動補正されます。
- バッテリー付き車は 「500rpm」 に設定して下さい。

- “温度計” 表示中に “左長押し (3 秒)” で ADJ モードに入ります。
 - ADJ モードに入ると “rP-IG” が表示されます。“左短押し” により表示を切り替え、“500r” 表示に合わせます。
- ※ 500r の 500 の数字が異なる場合があります。表示順 “rP-IG” → “rP-1” → “rP-HI” → “500r”
“500r” 表示の状態で、“右短押し” を行い、数値変更を行います。

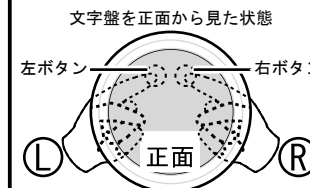


“温度計” 表示中に “左長押し (3 秒)” で ADJ モードに入ります。



RPM 信号回数の設定後
左長押し (3 秒) 確定
同時にメイン画面に戻ります。

画面が 500r 表示の状態で、“右短押し” し、数値変更を行います。
ここで最低回転数設定を行います。
設定範囲：500rpm ~ 4000rpm
設定単位：100rpm
最低回転数の設定 (点滅表示) 後、“左長押し (3 秒)” により、確定します。
確定と同時に ADJ モードからメイン画面へ戻ります。

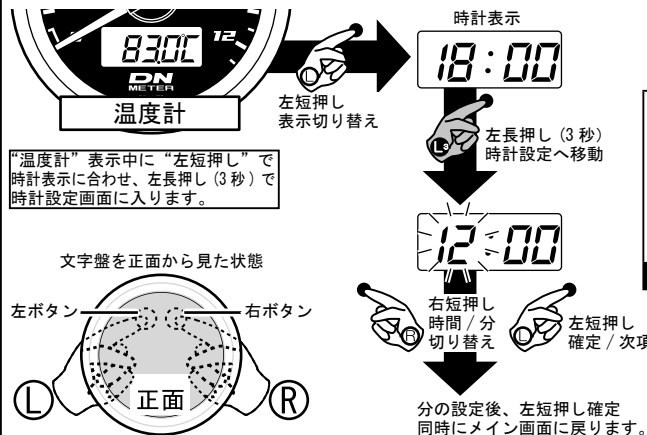


④時計

4

時計：24 時間表示で時刻を合わせます。

■メイン画面“温度計”表示中に“左短押し”で時計表示に合わせ、左長押し（3秒）を行う事で、時刻を合わせる事が出来ます。



時計設定画面になると時間（例12）の数字が点滅します。“右短押し”により時間（24時間）が切り替わります。
時間の設定後、“左短押し”を行う事で、分の設定へと切り替わり数字が点滅します。
“右短押し”により分が切り替わります。
分を設定後、“左短押し”を行う事で、時計設定が確定します。

時計表示：24 時間

④-1 時計 端数処理機能

時計 端数処理機能：1分の位を5分単位に端数処理にします。

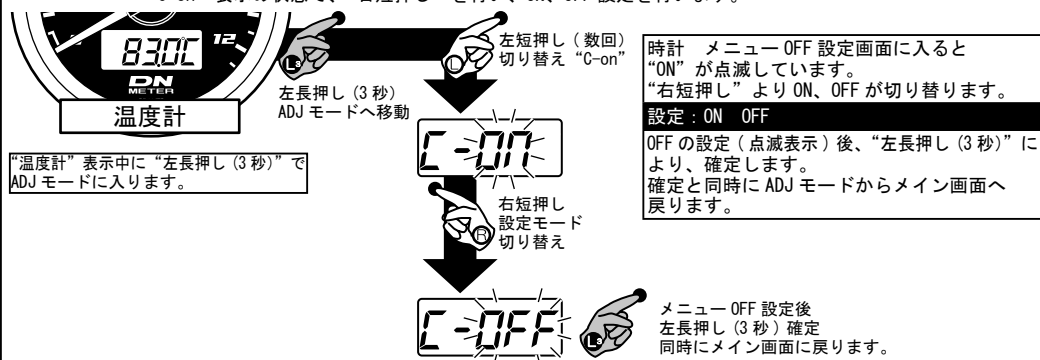
■メイン画面“温度計”表示中に“左短押し”で時計表示に合わせ、右長押し（3秒）を行う事で、時刻が端数処理された状態で表示されます。



④-2 時計 メニュー OFF 設定

時計 メニュー OFF 設定：機能を使用しない場合に OFF に設定し、非表示にします。

■“温度計”表示中に“左長押し（3秒）”で ADJ モードに入ります。
■ADJ モードに入ると“rP-IG”が表示されます。“左短押し”により表示を切り替え、“C-on”表示に合わせます。
表示順“rP-IG”→“rP-1”→“rP-HI”→“500r”→“C-on”...
“C-on”表示の状態、“右短押し”を行い、ON、OFF 設定を行います。

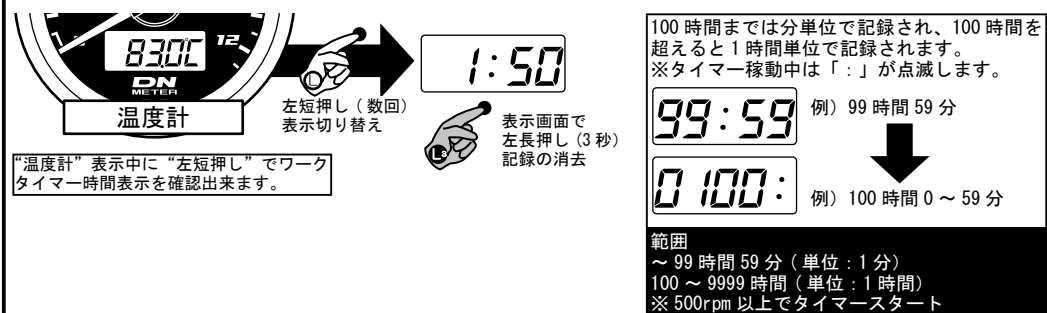


⑤ワークタイマー（エンジン稼働時間計）

5

ワークタイマー：500rpm 以上のエンジン稼働時間を自動で加算するタイマー。
500rpm 未満になると止まります。計測時間は消去出来ます。

■メイン画面“温度計”表示中に“左短押し”（数回）でワークタイマーの時間表示に出来、エンジン可動時間を確認出来ます。時間表示の状態“左長押し（3秒）”を行うと記録の消去されます。

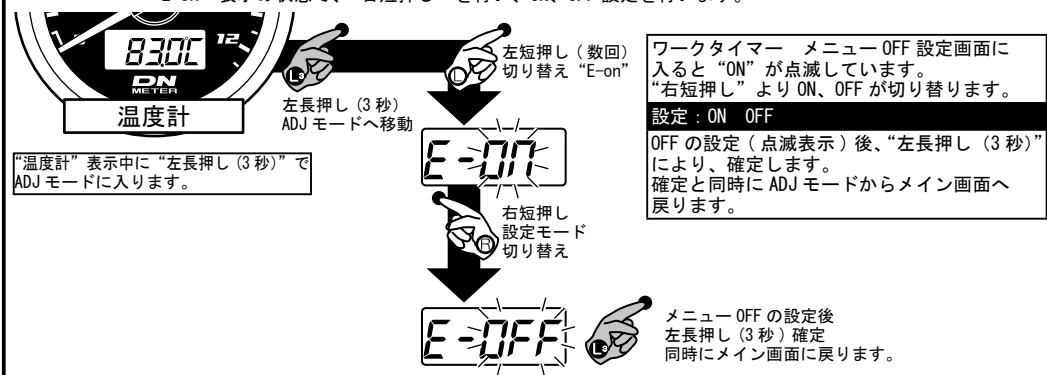


⑤-2 ワークタイマー メニュー OFF 設定

5-2

ワークタイマー メニュー OFF 設定：機能を使用しない場合に OFF に設定し、非表示にします。

■“温度計”表示中に“左長押し（3秒）”で ADJ モードに入ります。
■ADJ モードに入ると“rP-IG”が表示されます。“左短押し”により表示を切り替え、“E-on”表示に合わせます。
表示順“rP-IG”→“rP-1”→“rP-HI”→“500r”→“C-on”→“E-on”
“E-on”表示の状態、“右短押し”を行い、ON、OFF 設定を行います。



⑥最高記録

6

最高記録：最高回転数と最高温度を自動で計測します。計測時間は消去出来ます。

■メイン画面“温度計”表示中に“左短押し”（数回）で最高記録の表示に出来、各記録を確認出来ます。記録表示の状態“左長押し（3秒）”を行うと記録が消去されます。

